

小中合同地域老人ホーム訪問ボランティア活動を終えて

1 目的

- ・お年寄りの方との触れあい体験を通して、自分にできることや共に生きることを学ぶ。
- ・小学生・中学生・地域のボランティアの方との交流を深め、人のために役立つことなど思いやりの心を育てる。

2 期日 平成30年8月8日(水)

3 訪問先 特別養護老人ホーム万葉苑

4 内容 シーツ交換、部屋の掃除、窓ふき、お年寄りと交流

5 参加者 作道小学校22名 塚原小学校25名 新渡南部中学校55名

ご協力いただいたボランティアの方々

○作道ボランティアのみなさん

荒木 久子 さん 谷口 悦子 さん
片岡由美子 さん 橋本 芳子 さん
川浪ひろ子 さん 宮島スミ子 さん
草野 憲恵 さん 宮田千嘉子 さん
澤田みや子 さん 村井 みほ さん
柴田 啓子 さん 吉田香代子 さん
島倉 恭子 さん 四柳 節子 さん
尚和 厚子 さん

○塚原ボランティアのみなさん

石灘 範子 さん 高木 良子 さん
浦田 芳子 さん 塚本 幸子 さん
太田 照子 さん 東保 恵子 さん
奥村 篤子 さん 殿村 章子 さん
小田 スミ さん 中江恵美子さん
小田美智子 さん 牧野 好美 さん
尾山 邦子 さん 宮下 ひろ子さん
佐伯八重子 さん 村田 江子 さん
島 幸子 さん



合計 32名

大人のボランティアの方は優しく、わかりやすく教えてくださいました。教えていただいたことは、シーツにしわがあると腰が悪い方にとって都合が悪いということ、利用者さんのことを考えて細かいところまで気を配る、ということ。お年寄りの方との交流では、笑って「ありがとう」と言って手を握ってくださいました。嬉しい気持ちになりました。

(塚原小 6年 本田 彩笑)

ぼくは前にも参加したことがあったので、この日を楽しみにしていました。大人のボランティアの方は優しく丁寧に教えてくださいました。ベットメイキングが終わるとお年寄りの方とたくさん交流することができました。

この活動を通して、いろいろな方がお年寄りの方を手助けしていることを改めて実感し、自分にできることを考えて行動していきたいと思いました。

(塚原小 6年 林 日向)

ボランティアとしてお年寄りの方に喜んでほしいという思いで参加しました。大人の方からは、枕の折り目やふとんの縛り方等細かいところまで丁寧に教えていただきました。

お年寄りの方との交流では、泣いて握手をしてくださる方がおられました。人に喜んでもらうと、自分も嬉しい気持ちになることを実感しました。

このボランティア活動に参加できてよかったです。

(塚原小 6年 海老 杏南)

私は4年生のときに参加しましたが、お年寄りの方との交流でうまく話すことができませんでした。そこで、今回は積極駅に挨拶をしようという気持ちで臨みました。

交流では、不安な気持ちもありましたが、自分から手を差し伸べることでお年寄りの方と握手をしたり言葉を交わしたりすることができました。

活動を通して、進んで人と関わることができたことを嬉しく思うとともに、ボランティアは人を笑顔にする、ということを実感しました。

(塚原小 6年 村田 真優)

私は、昨年もこのボランティア活動に参加し、今年は2回目の参加でした。大人の方からは、枕カバーを付けるときは枕の形をきちんと整えて入れることやシーツの角と角をていねいに合わせるなどを教えていただきました。今年は教えていただいたことを生かして活動できたことがよかったです。この経験を生かしてさらに、自分の家やおばあちゃんの家でもいろいろなお手伝いをしたいと思いました。2回目のボランティアはとても楽しかったです。

(作道小 6年 近藤 朱美)

万葉苑では、シーツ交換やベッドの整え方を教えていただきました。シーツ交換は大変でしたが、お年寄りの方が毎日使っておられるベッドをきれいにすることができ、よかったです。

お年寄りとの交流では、一人一人と握手をしたり、話をしたりしました。短い時間でしたが、普段あまり経験することができない貴重な時間になったと思います。

このボランティアに参加して本当によかったです。

(作道小 6年 宮崎 ゆみ)